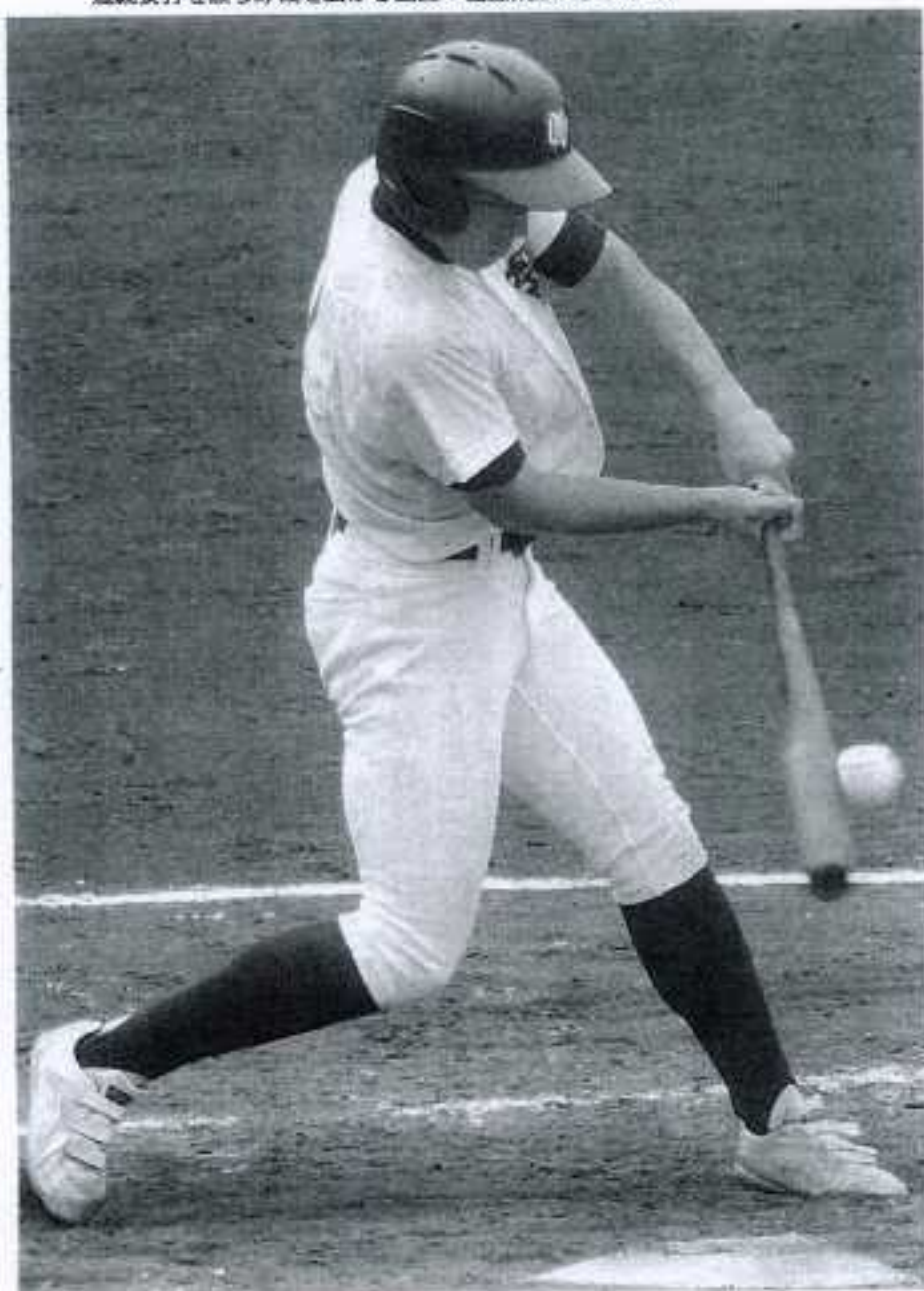


【2回戦・王寺工-奈高専】王寺工は4回、先頭の福田に続き、右方向に連続安打を打ち好機を広げる西田=佐藤薬品スタジアム



(18日・佐藤薬品スタジアム)
▽2回戦第1試合
奈高専0000000
王寺工001423x100
(六回コールド)

王寺工 流れ渡さず

足を絡め快勝

勝敗分けた 気迫と覚悟

奈高専、好機生かせず

○…王寺工が五回まで7点取れるなから、うちは10点取れる。ダブルエンドで終わって六回の攻撃が、奈高専の武部主将だ。

①王寺工が序盤の投手戦から流れを引き寄せ奈高専を10-0の六回コールドで下し

しかしその回、2死で満塁まで詰め寄ったが得点できなかった。「王寺工の選手からは試合ひとつに人生を懸ける気迫があった。うちの3年にはそれがあった」と武部。自らについても「主将として覚悟がなかった」と何度も「覚悟」という言葉を口にしながら、その壁が崩れつつあったと悔し涙を流した。

【奈高専】打安点

⑧	高力	3	0	0
④	勝田	3	1	0
⑥	田中	3	0	0
⑦	野上	3	1	0
⑨	井上	3	0	0
③	小西	3	1	0
⑤	夏原	2	0	0
①	武部	1	0	0
②	加藤	2	1	0
⑦	奥田	0	0	0
	鶴岡	0	0	0
	藤原	0	0	6
	藤原	0	0	2
	藤原	0	0	3
	藤原	0	0	4
	藤原	0	0	0

【王寺工】打安点

⑧	中井	4	1	1
④	坂口	4	0	0
⑥	福田	4	1	0
①	西田	4	2	0
⑨	比井	3	2	1
③	比井	3	2	3
⑤	中山	2	1	2
②	中川	2	1	1
⑦	池田	1	1	0
⑩	吉田	0	0	0
	藤原	0	0	0
	藤原	5	3	6
	藤原	2	5	10
	藤原	7	7	7

投手 打安点
共 4 27 7 7
野 上 1 6 3 3

西田 6 24 4 0

▽本塁打=中山(主)▽三塁打=中井(主)▽二塁打=小西(主)▽一塁打=王寺工(主)▽ボーク=王寺工(主)▽試合時間=1時間25分

回は、2死から西田の安打と盛業、比井の適時打に続き、中山が2点ランニング本塁打を打ちコールドを決めた。

王寺工は三回1死から、四球出塁した奥谷が中井の左中間適時三塁打で生還して先制。四回には福田、西田の連続安打からスクイズなど足を生かした攻撃や相手内野の3失策もあり4点を追加した。7アウトで迎えた六

奈高専は四回の守備の乱れで流れを王寺工に渡してしまい、六回は2死満塁の好機を生かせず観をのんだ。